

# ICF 情報集約サイト構成内容（案）について

## 1. 目的

ICF に関する基礎資料、研究成果(アーカイブ)等を集約、情報共有の場とする

## 2. 構成

### ①トップページ

**ICF** 国際生活機能分類  
International Classification of Functioning,  
Disability and Health (WHO)

[ICF日本語版](#) [論文](#) [ポスター](#) [マッピング](#) [関連リンク](#) [ICF関連行事](#) [ICFとは](#)



## ②内容

ICF 日本語版	ICF 日本語版(PDF データ)+年度の改正内容
論文	厚生労働科学研究(厚労科研)ICF 研究リスト及びリンク等
ポスター	ICF に係るポスター集約 (WHO-FIC、シンポジウム等)
マッピング	WHO-DAS 他既存指標と ICF コードとのマッピングリスト (WG での検討結果を適宜更新)
関連リンク	WHO サイト/厚生労働省社会保障審議会統計分科会生活機能 分類専門委員会/普及推進検討 WG/ICF 投票サイト等
ICF 関連行事	ICF シンポジウムや WHO からの告知等適宜発信
ICF とは	基本情報/概念図/これまでの取り組み等
その他	
ICF コラム	ICF の動き等適宜発信
フォトギャラリー	関連行事等の写真
FAQ	ICF に関する良くある質問と回答
お問合せ	

## 3. 各ページ (イメージ)

### ◆ICF とは (掲載イメージ)

The image shows a screenshot of the ICF website. At the top, there is a navigation menu with links for: ICF日本語版, 論文, ポスター, マッピング, 関連リンク, ICF関連行事, and ICFとは. Below the menu is a large banner with the ICF logo and the text "国際生活機能分類 International Classification of Functioning, Disability and Health (WHO)". The main content area is titled "About ICF ICFとは" and features a sub-header "～ WHO-FICにおける中心分類の一つであるICF ～". There are three blue boxes containing text:

- ICF は健康領域 (※ 1) と健康関連領域 (※ 2) を記述するための、統一的で標準的な言語と枠組みを提供することを目的とする分類です。
- WHO が総合的に管理運営している WHO-FIC (世界保健機関国際統計分類) (※) の中心分類の一つです。
- 厚生労働省では、社会保障審議会統計分科会の下に、生活機能分類専門委員会を設置し、WHO の意向等を踏まえ、ICF に関する具体的な事項について検討を行っています。

At the bottom, there is a box with the heading "(※) WHO-FIC (世界保健機関国際統計分類)". The text in this box explains that WHO uses WHO-FIC for data management and that it is a core classification of WHO-FIC. It also mentions that the Ministry of Health, Labour and Welfare has established a committee to discuss ICF in line with WHO's intentions.

詳細は、<http://www.who.int/classifications/en/> を参照

## 「ICF とは」原稿（案）

### ICF とは:

国際生活機能分類([International Classification of Functioning, Disability and Health](#))

### WHO-FIC における中心分類の一つである ICF

- ICF は健康領域<sup>(※1)</sup> と健康関連領域<sup>(※2)</sup> を記述するための、統一的で標準的な言語と枠組みを提供することを目的とする分類です。
- WHO が総合的に管理運営している WHO-FIC (世界保健機関国際統計分類)<sup>(※)</sup> の中心分類の一つです。
- 厚生労働省では、社会保障審議会統計分科会の下に、生活機能分類専門委員会を設置し、WHO の動向等を踏まえ、ICF に関する具体的な事項について検討を行っています。

(※) WHO-FIC (世界保健機関国際統計分類)

WHO は、保健関連の重要課題を効果的に処理するためには、データベースを用いて、問題を識別し、記述する必要があるとしています。具体的には、保健関連の課題について、原因を調査し、その内容を記録したり、実施した介入等について、進捗状況を監視し、評価したりするために、国際比較可能な標準化されたデータベースが重要であるとの認識です。この認識に基づき、WHO は、保健分野に関する分類体系を提示しています。これが国際統計分類 (WHO-FIC: WHO Family of International Classifications) と呼ばれるものであり、ICF は、その中でも、ICD (国際疾病分類) と並び、中心分類の一つとして位置づけられています。

(詳細は、<http://www.who.int/classifications/en/>を参照)

### ICF の特性

ICF は、人の健康に関わる生活機能とその関連領域を分類の対象とする国際分類で、1600 を超える項目から構成され、心身機能(body functions)、身体構造(body structure)、活動(activities)と参加(participation)、環境因子(environmental factors)といった領域について包括的に記述する枠組みを提供しています。

ただし、その範囲は広い意味での健康の範囲にとどまるものであり、社会経済的要因によってもたらされるような、健康とは無関係な状況 (例えば、人種、性別 (ジェンダー)、宗教などによる課題の遂行への制約など) については扱いません。

(※1)

健康領域：見ること、聞くこと、歩行、学習、記憶を含む。

(※2)

健康関連領域：交通、教育、社会的相互関係を含む。

## ICFにおける構成要素とその相互作用

### 1. ICFにおける構成要素

○ICFは「心身機能・身体構造」、「活動」、「参加」の3つの構成要素からなる「生活機能」とまた、それらに影響を及ぼす「環境因子」等の「背景因子」の項目で構成されています。

○各領域の項目は、

第1レベル（心身機能における“精神機能”や“神経筋骨格と運動に関連する機能”、活動と参加における“コミュニケーション”、“運動・移動”など）、

第2レベル（心身機能における“注意機能”、“視覚機能”、“筋力の機能”、活動と参加における“話すこと”、“歩行”、“更衣”、“報酬を伴う仕事”など）、

さらに詳細な第3、第4レベルの分類があり、どのレベルでも利用が可能です。

（例）

第1レベルの項目 a4 運動・移動

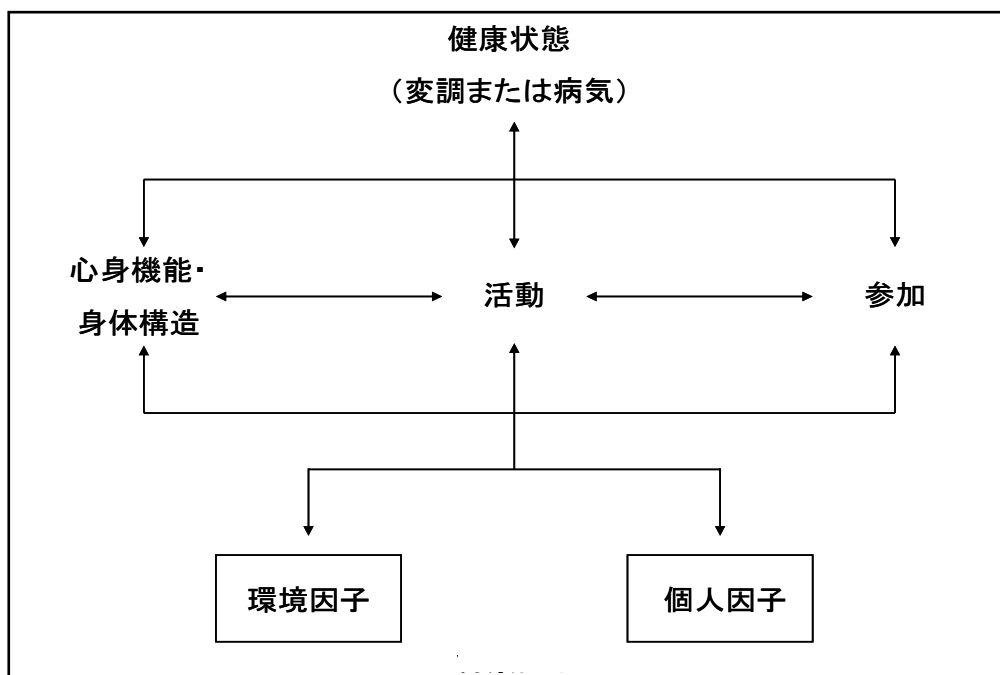
第2レベルの項目 a450 歩行

第3レベルの項目 a4501 長距離歩行

### 2. 構成要素間の相互作用について

○個人の生活機能は、健康状態と背景因子との間に相互作用あるいは複合的な関係があると考えられています。また、生活機能を構成する「心身機能・身体構造」、「活動」、「参加」の間にも相互作用あるいは複合的な関係があると考えられています。

### 概念図



## ICF 活用で期待される効果

ICF は、その活用により、

- 当人やその家族、保健・医療・福祉等の幅広い分野の従事者が、ICF を用いることにより、生活機能や疾病の状態についての共通理解を持つことができる。
- 生活機能や疾病等に関するサービスを提供する施設や機関などで行われるサービスの計画や評価、記録などのために実際的な手段を提供することができる。
- 調査や統計については比較検討する標準的な枠組みを提供することができる。などが期待されています。

## ICF で使われる用語の定義

### ◆「生活機能」に関する用語

- 生活機能(functioning)：  
心身機能、身体構造、活動及び参加の全てを含む包括用語
- 障害(disability)：  
機能障害、活動制限、参加規約の全てを含む包括用語
- 心身機能(body functions)：  
身体系の生理的機能（心理的機能を含む）
- 身体構造(body structure)：  
器官・肢体とその構成分野など、身体の解剖学的部分
- 機能障害（構造障害を含む）(impairments)：  
著しい差異や喪失などといった、心身機能または身体構造上の問題
- 活動(activity)：  
課題や行為の個人による遂行
- 参加(participation)：  
生活・人生場面(life situation)への関わり
- 活動制限(activity limitations)：  
個人が活動を行うときに生じる困難さ
- 参加制約(participation restrictions)  
個人が何らかの生活・人生場面に関わるときに経験する難しさ

### ◆「背景因子」に関する用語

- 背景因子(contextual factors)：  
個人の人生と生活に関する背景全体（構成要素は環境因子と個人因子）
- 環境因子(environmental factors)：  
人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境、人々の社会的な態度による環境を構成する因子
- 個人因子(personal factors)  
個人の人生や生活の特別な背景